

◆ カーエアコンはこまめに調節

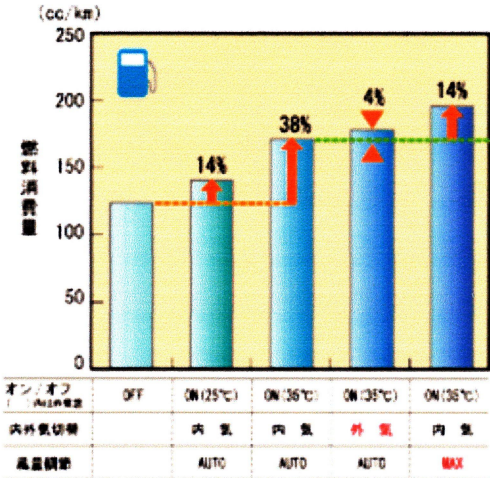
できるだけOFFにする(特に春、秋)
エアコンがオンのときは内気循環、オフの時は外気導入で
気象条件に応じて、こまめに温度調節する
風量調節はAUTOで

エアコンの使い方は燃料消費量に大きな影響があります。また気温や日照量は、日によって、時間によって変化します。
こまめにエアコンのオン・オフ、温度調節をしましょう。



●エアコンのオンとオフの比較(室内温度24℃設定)
エアコン負荷が小さい、外気温25℃の時でも、オンにするだけで燃料消費量は14%増加します(燃費は12%悪くなります)。
エアコン負荷が大きい外気温35℃の炎天下の条件相当では、エアコンオフに比べ、燃料消費量は38%増加します(燃費は28%悪くなります)。

●外気温35℃での比較(室内温度24℃設定)
内気循環(REC)を外気導入(FRESH)に変えると、燃料消費量は4%増加します(燃費は4%悪くなります)。
風量調節をAUTOからMAXにすると、燃料消費量は14%増加します(燃費は12%悪くなります)。



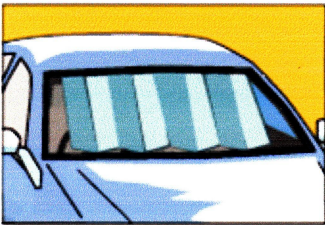
※、のデータは市街地走行を想定した条件で、実験室で測定した結果です。
7500cc ミニバン

エアコンの使用条件による燃料消費量の変化
出所 省エネルギーセンター調べ



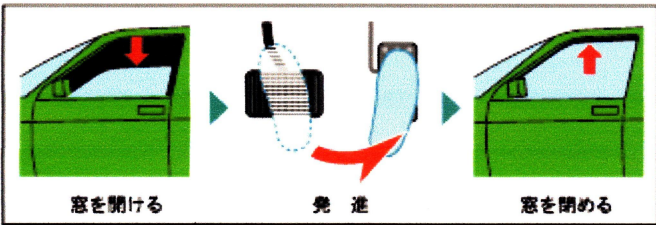
速く冷えるようにするには

炎天下に駐車する場合



日よけをする。

炎天下に駐車した後の場合



エンジンをかけたら、換気をするとともにすぐに発進する。